

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	機能品	樹脂・化成品	機械	その他	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	23,373	106,977	44,890	28,819	204,059	102,626	306,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,667	12,400	471	△4,421	14,117	△14,117	—
計	29,040	119,377	45,361	24,398	218,176	88,509	306,685
セグメント利益 (営業利益)	5,167	9,553	2,368	1,154	18,242	846	19,088

(注1) 調整額は以下の通りです。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額102,626百万円は、セメント事業およびその関連事業等の外部顧客への売上高です。
- (2) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△14,117百万円には、セメント事業およびその関連事業等のセグメント間の内部売上高又は振替高709百万円が含まれております。
- (3) セグメント利益の調整額846百万円には、セグメント間取引消去△134百万円、セメント事業およびその関連事業等のセグメント利益2,256百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,276百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	機能品	樹脂・化成品	機械	その他	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	24,784	135,926	44,948	39,123	244,781	—	244,781
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,975	13,561	310	△5,762	15,084	△15,084	—
計	31,759	149,487	45,258	33,361	259,865	△15,084	244,781
セグメント利益 (営業利益)	5,516	2,405	1,221	1,223	10,365	△1,846	8,519

(注1) 調整額は以下の通りです。

セグメント利益の調整額△1,846百万円には、セグメント間取引消去122百万円、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△1,968百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2022年4月より、セメント事業及びその関連事業等をUBE三菱セメント(株)に承継させたことを受け、新
 中期経営計画「UBE Vision 2030 Transformation～1st Stage～」においてセグメントを見直したことに伴
 い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「化学」「建設資材」「機械」「その他」の4
 区分から、「機能品」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の4区分に変更いたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。

また、従来「建設資材」セグメントに含めていたセメント事業及びその関連事業等については、当第2四
 半期連結累計期間の売上高およびセグメント利益（営業利益）の計上はありません。これは、同事業を承継
 させたUBE三菱セメント(株)が当社の持分法適用会社であることによるもので、当第2四半期連結累計期間
 においては、同事業に係る持分法による投資損失11,770百万円（営業外費用）が計上されています。